



やしお市民大学OB会通信

・やしお市民大学OB会編集委員会・

OB会総会

☆やしお市民大学OB会総会☆

新型コロナウイルス感染防止の観点で延期していた「やしお市民大学OB会総会」が8月29日(土)10:30より「やしお生涯学習館 多目的ホール」で開催されました。



司会の渡井基典氏(15期)、議長の村松壽文氏(15期)の的確な運営により議事は滞りなく進行し、全ての議案は原案通り承認されました。楽習館での市民大学の総会開催は初めての試みでしたが問題なく進められました。感染防止の観点から、入館時の体温測定、質問票回答、手指消毒があり、会場では間隔をあけて着席して始まりました。

役員を始め多くの会員のご協力に心から感謝致します。



企画活動

==古典を楽しもう==

新型コロナウイルスの影響でOB会活動もままならぬ中、令和2年9月11日(金)10時～12時、楽習館映像ホールにて開催された。講師は1期生の坂本藤次氏。参加者16名。



今回のテキストは堤中納言物語の一編で「虫愛でる姫君」。堤中納言物語とは、平安時代後期に成立した短編物語で編者は不詳。

『毛虫が大好きな姫さま』の物語。按察使の大納言の姫さまは、「人には実(まこと)というものが物の本質を突き止めるのが良い心がけ」と言い、色々の虫を集めては成長する様子を観察しているばかり。召使いの男の子の呼び名までも虫の名前をつけてしまいます。

世間体が悪いという両親にも「何事も始めと終わりを見届けるから本質がわかるのです。毛虫が蝶になるのですよ。みんなが着ている着物だって蚕が羽のつかないうちに糸にするからできるのです。蝶になってはおしまいなのですよ」と言い返します。

なかなかの美人なのに、お化粧もしない、身なりもかまわないで毛虫に夢中の姫さまに両親はハラハラドキドキです。

古文は難しい!! でも講師の坂本先生はいつでもユーモアたっぷりに私達を楽しませてくれます。楽しいひと時をありがとうございました。

(11期 最川幸子)

==犯罪からの体験型安全教室==

☆犯罪から子供を守る☆

令和2年10月9日(金)10:30～12:00、楽習館映像ホールにて開催。講師は「子ども応援団・結(ユイ)」の安蒜まどかさん、木下史江さん。

当日はあいにくの雨の中、15名の受講者が有りました。

子ども応援団・結は2017年結成以来、八潮市内の小・中学校児童・生徒や町会など、地域各所で犯罪の発生事例や、犯罪は何故? どうして? どこで? 起きやすいか等の、具体的実例を示しての安全教室活動をされているとの事。

また、見守りや声かけ、子供達への関心を持ち、大人が率先して犯罪者からの被害防止を図る環境づくりの大切さを改めて感じた講習でした。

講師より「大人(私たち)が助け合えば、子供たちが自然に共助を学んでいく」とのお話があり、大人の責任を改めて認識した講習でもありました。



(12期 寺嶋 誠)

協働活動

== 埼葛人権を考えるつどい ==

10月15日(木) 三郷市文化会館に於いて第29回 埼葛人権を考えるつどいが開催された。テーマは【雅】(みやび)です。今回は折り鶴100万羽が達成された記念すべき開催です。新型コロナウイルス感染防止の為、・市町ごとに順番で会場入り、・時間制限 ・演目の減少と、とても寂しい状況でした。

文化会館前の公園には沢山の折り鶴が飾られて揺れていました。

各市町は4部に編成され、八潮市は2部として10:30～11:00に会場に入りました

★舞台出演 2部

☆《朗読》うしお文庫(八潮市) 重松清 作/ きみの町での中から、

☆《鼓笛隊》茂幼稚園(吉川市)



4部

☆ダンスサークルトライ(八潮市) よさこいソーラン&ダンス等(上掲写真)を見ました。

うしお文庫さんの朗読には、会場全体が静かに



聞き入りました。

また、ダンスサークルトライさんも素敵でした。

各市長さん達の条幅の書の上には、アマビエの絵が張られていました。来年は、第30回埼葛人権を考えるつどいを春日部会場で開催予定。30回はコロナ

を心配することも無く、例年の子供達の躍動的なパ



フォーマンスのダンス、響きわたる歌声を視聴したいものです。

途中からの雨、飾られた折鶴も濡れています。準備の方の大変さがわかります。関係各位のご尽力に感謝します。

(13期 酒井美代子)

部会活動

== 歴史部会 ==

歴史部会の活動はコロナ禍のため本年度の活動は活動計画会を始め、全て無期延期中です。

今年は活動計画の変更の他に役員交代がありましたのでお知らせ致します。

部長：田中 求(7期)

副部長：藤井美代子(8期)

副部長：豊田 隆(10期)

幹事(役員)：田邊信代(10期)

(退任)

北川賢一(部長)

山木知二(会計他役員、部長代行)

部発足以来、これまで10年に渡り、リーダーを務められたお二人に感謝申し上げます。

コロナ禍終息状況を勘案して活動計画案を会員にお知らせ致します。

(部長 7期 田中 求)

== うたまち部会 ==

うたまち部会活動報告(4月～9月)を致します。新型コロナウイルスのため活動を自粛しましたが、6月に入り国の緊急事態宣言が解除されたので、役員打ち合せ会を開き会員の希望もあり、コロナの感染予防対策をした上で6月25日より活動を開始しました。9月末までに合計3回の活動(主に唄の発声練習と歌唱練習)をしました。

八潮市の市民文化祭は中止になりましたが次回の発表の機会に向けて、次の歌を課題として練習をしています。

1. フレア
2. 夢咲埼(ゆめさきみさき)
3. 翼をください

(10月1日現在の会員数は41名、1回の練習参加

者数は平均25～30名)

(部長 6期 木村 進)

==太極拳部会==

☆太極拳で健康増進!☆

知人OBより楽習館でのOB会太極拳教室を紹介して頂き、昨年入会しました。

太極拳は体力アップ、健康増進に役立つとのこと。

ゆっくりした動作ですので、初心者の中高齢者でも動けること、私の第一目標である転倒防止の為に体幹を鍛えたいと思い入会しました。

毎回先生から立位姿勢を指摘され、自身では気づかぬ内に「いかに間違った姿勢で生活していたことか?」と痛感します。正しい立位姿勢になれる様に努めたいと願っております。

が、気持ちとは裏腹に身体が思う様に動かず、私の為にレッスンを中断させてしまう事が多々あります。先生及び諸先輩方が快く見守って下さり、悪戦苦闘しております。心の中で焦りながら感謝しております。

(謝謝! m()m)

又、レッスン終了後は身体がポカポカと温かくなり、血行が良くなっていることが実感できますので、下手なりに効果を感じております。



更に帰宅後は通常よりもリラックス感が増しており、ふと気づくと昼寝する事が多々あります。疲れの為か?と思案しておりましたら、太極拳ベテランOBもレッスン後は昼寝をするとのことで、安堵しました。自律神経も調整されていることを納得しました。

これも太極拳のてんこ盛り効果かと思えます。

未だ未だ型を覚える段階にも至らず、先生方にはご迷惑ばかりおかけしておりますが、皆さんを頼りに続けていきたいと思えます。

(17期 吉田三恵子)

==健康ウォーキング部会==

健康ウォーキング部活動再開に向け、さる10月10日(土)10時、台風接近で大雨の中、楽習館(映像ホール)に於いて、新型コロナウイルス感染防止のため延期しておりました令和2年度の部会総会を開催致しました。

2月の自粛から9か月、待っていたと言わんばかりの部員33名の出席でした。

受付では慣れない検温、手指消毒を受けて戸惑いもあったようですが、ソーシャルディスタンス確保の会場は満席になりました。総会が開催され今後の活動が「新しい様式」に変わる事につき部員の皆が真剣に聞き入っていました。議事はスムーズに進み、総会は1時間で終了しました。

総会の内容

岡 薫部長退任。

新部長に内藤初江、部長代理に田邊信代の各氏が就任。

(令和元年度表彰者15名)

- ・特皆勤賞：久保節子、野呂淑子、藤井美代子、山本浩子、佐々木 晃、大熊久江、田邊信代
- ・皆勤賞：金津房江、寺沢憲仁
- ・努力賞：當金孝子、稲葉卯女、佐藤彰吾、平松伸介、堀公保、渡辺幸男
- ・最優秀賞(5年間の参加トップ)：久保節子(8期)
- 優秀賞(3年連続皆勤賞)：山本浩子(5期)



「今後の部活動は新しい生活様式、ウォーキングスタイルで始まる」の考え方。

自粛から9か月、今なお、新型コロナウイルス感染症の終息には至っていない。第2波の兆しも懸念されている。新型コロナウイルス感染症は繰り返し、繰り返し襲ってくる怖い存在。感染症



症に弱い高齢者は特にこの感染症に負けない体づくりや体調管理が大事になる。再開に際し、感染防止マニュアル「新しいウォーキング様式」を作成し、「歩く楽し

さ・歩ける喜び」を実感して頂けるように安全性を最優先し、最大限の努力が必要とされるものです。

部員の皆様にも自己管理を徹底して頂き、「人からうつらない、他人にうつさない」をモットーに「自分を守り、仲間をも守る」精神で参加をお願いします。

「新しいウォーキング様式」での今後の活動

第1回：2班に分かれて市内を歩く。11月27日(金)

第2回：市内の神社巡りを全員でできるよう検討中。

1月中旬実施予定

第3回以降はコロナ禍の状況確認の上で場所・日程はその都度連絡となります。

・岡さん、発足以来5年間有難うございました。

・最優秀賞、久保節子さんの健康法を聴いてみました。

50代の頃、歩くつらさがあったが、歩き続けて「歩く楽しみ」を知りました。今では歩くことが大好きになり毎日歩いています。皆と歩く事も楽しみです。運動は欠かさない。時間を決めた規則正しい生活を心がけている。食事は何でも良く食べ、美味しくいただいていることでした。

(健康ウォーキング指導士 /部長/5期 内藤初江)



==水辺の楽校活動部会==

本年度より水辺の楽校活動部会として、活動させていただくことになりました。本年度は残念ながら、新型コロナウイルスの影響で活動ができていない状況です。

過去の活動は、

- 1、水辺の楽校活動部会主催
毎年11月頃バーベキュー実施。
- 2、八潮市子ども会育成者連絡協議会主催
①夏まつり・魚とり
毎年7月下旬から8月初旬実施



②防災まつり

毎年3月花桃まつり時実施



- 3、中川やしお子どもの水辺運営協議会主催
毎年10月に清掃活動実施



- 4、中川やしお子どもの水辺運営協議会に参加
8期 高橋金作氏 4期 小林義和が、水辺の楽校の運営協議に参加しています。

河川は危険なところという事で、子どもたちを河川に近づけたり遊ばせたりすることは、少なくなりました。水辺の楽校は安全・安心に子どもたちが水辺に親



しむ為、その活動を行えるよう自然を生かしつつ、整備をすすめた施設です。

八潮市の主管は商工観光課です。OB会の部会として本年度より活動する事になり、今まで以上に市との協働活動の実績を積み上げていきたいと思ひます。

部会主催のバーベキューにOB会員の方にご参加

いただいておりますが、会員のご家族、或いは広報を通じて一般の方にも多く参加できるような行事にしたいと考えています。

現在、部会員は5名の方にご協力をいただいておりますが、部会の性格から、多くのOB会員の方に参加していただくような企画等を考えていきたいと考えています。今後OB会を通じOB会員、市民大学の皆様にも発信をしていきたいと考えています。その際は、是非ともご協力をお願いします。

(部長 5期 小林 義和)

同期生の話題

☆11期生の会「いいの会」☆

私たち やしお市民大学 11期生は、卒業と同時に「いいの会」という会を作り、親睦旅行や名所旧跡の見学会、勉強会等の活動をしてきましたが、今年は新型コロナウイルスの蔓延により、団体行動の自粛要請が有り、思うような活動ができませんでした。

たまたま1月の初めにフラワーパーク会場に、空き花壇があるとの情報を得ました。八潮市商工会にお願いしてその場所を借り上げ、2月初旬頃、皆で草を取って整地し、肥料を施して花を植えました。

11期生は風流人が多く花をめぐる人が絶えず、夏の暑い盛りも水を絶やすことなく、色々の花が咲きみだれていました。いつ見ても「いいの会」の花壇はどの花壇よりもきれいです。フラワーパーク方面に行かれることが有りましたら、是非とも花々に、綺麗だねと声を掛けてやって下さい。大喜びをしますと思います。



(11期 上村義弘)

やしお市民大学

☆大学・大学院 入学式・始業式☆

令和2年9月12日(土) 八條公民館 大ホールに於いて、やしお市民大学・同大学院入学式及び2学年進

級式が行われました。例年八潮メセナで5月に行われていたのですが、本年は新型コロナの影響で9月に会場を変更して行われました。



大学1学年(18期生)は11名、2学年(17期生)は12名、大学院生(14期生)は3名です。2学年及び大学院生の卒業式は令和3年6月26日、1学年の修了式は令和4年3月5日に予定されています。

尚、例年と学習プログラムが大幅に異なるため、令和3年度の新規1学年生の募集はありません。

行事予定

本年3月の花桃まつりは中止されましたが、令和3年3月開催の花桃まつりは実行の方向で準備が始まりました。

連絡事項

☆表彰を受けました☆

当会が多年にわたる社会奉仕活動団体として、地域福祉の増進に貢献したことにより、令和2年2月29日、社会福祉法人八潮市社会福祉協議会より表彰され、表彰状と副賞の電波時計を頂きました。

長年福祉活動にご尽力頂きました会員各位に厚くお礼申し上げます。



★56号掲載記事の訂正★

OB通信56号に於いて、学長懇話会の開催日記載に間違いがありました。

次の通りお詫びして訂正致します。

(誤) 11月2日(土)10:00

(正) 11月9日(土)10:00

その他の話題

(文書転載)

『文書1』の筆者永富さんは私のゴルフの友達で、いくつかの本を書いたり、講演をしたりしている方です。

文書はゴルフ仲間越生町在住の根岸さん宛に送ったものです。

最近では来年の大河ドラマ主演で新千円札肖像画に採用された「渋沢栄一」に関する調査、執筆、講演をやっているようです。

来年の大河ドラマで深谷市出身の渋沢栄一と、その甥、大川平三郎についてです。

『文書2』は更に「大川平三郎の郷里への貢献」についてです。(Wikipediaからの転載)

転載します。

(10期 豊田 隆)

『文書1』メール文

根岸さま

越辺(おっぺ)川と言えば、来年の大河ドラマ主人公、渋沢栄一に関連した遺跡があります。

「大川堤」と呼ばれるもので、坂戸市と川島町あたりです。

渋沢は明治6年、近代文化には紙が不可欠と、王子製紙を立ち上げます。まもなく、渋沢の奥さん(千代)の姉(みち子)が大川家に嫁いで生んだ大川平三郎という少年が王子製紙に入ります。平三郎は独

学で英語を猛勉強、それが見込まれて社命で米国、欧州の近代製紙工場を実習して歩きます。

6年後(ぐらい)に西洋式の製紙技術、パルプの活用法などを身に付けて帰国し、間もなく重役に抜擢され、後には専務にまで進みます(会長は渋沢)。

ところが明治31年、三井がのっとり仕掛けてきたことから、渋沢と平三郎は王子製紙を去り、平三郎はその後、全国に製紙工場を立ち上げて、後に「製紙王」と呼ばれるまでになります。

そして生まれ故郷に恩返しと、毎年氾濫に苦しんでいた越辺川(おっぺがわ)中流(現在は坂戸市の「大川平三郎記念公園」)に自費を投入して防波堤を作ります。これが「大川堤」です。

こんな話などを交えて、先週から渋沢の講演をやっております。

ひょっとして来年の大河にも登場するかも知れません。ご参考まで。

永富 拝

『文書2』大川平三郎の郷里への貢献

埼玉県産業界の要請で、銀行統合が行われ武州銀行が誕生すると、大川は請われて頭取に就任した。

郷里の三芳野村(現・坂戸市)の困窮を救うため、財政支援を続け、教育や消防の施設購入に私財を注ぎ込んだ。特に郷里の学校の校舎の建築・校庭の整備に幾度なく巨費を投じた。坂戸市立三芳野小学校など数箇所に頌徳碑がある。

祖父・大川平兵衛の開いた道場は小畔(こあぜ)川沿いの低地で、小畔川や越辺川は度々氾濫を繰り返した。

1910年(明治43年)にも大洪水を引き起こした。このため1924年(大正13年)、全額私費で地元の原次郎の協力を得て、1.1kmの堤防を建設した。当時は、大河でさえ国の河川管理は稀であった。

今日、それは「大川堤」と呼ばれ、大川道場跡は坂戸市の「大川平三郎翁記念公園」となっている。

また自身が貧しい幼年時代で、農村の衰退した現状を憂い、1924年(大正13年)に私財で「大川育英会」を立ち上げた。渋沢栄一もこの財団を創設から支えた。大川育英会は埼玉県出身の学生に奨学金を提供、就学の機会を与えている。

以上

市民大学OB通信のQRコード



* 次号の発行は来年3月を予定しています

次回3月発行の58号は通常の活動の他に、各期の活動予定や実績を積極的に掲載したいと考えております。ぜひ、記事投稿をお願い致したく、各期代表・役員の方を始め、会員の皆様のご協力をお願い致します。

- ・記事は300～700文字程度とし、できるだけ写真添付をお願いいたします。
- ・記事はメール本文又はword添付が望ましいのですが、手書き原稿もOKです
- ・写真はメール添付又は原稿とともに郵送もOKです。
- ・企画活動はじめOB会の記事は会長又は副会長経由、部会報告は部長経由、その他は適宜記事の提供をお願い致します。
- ・記事締め切りは2月20日(豊田着)をお願い致します。

☆編集後記☆

今年度初めてのOB通信です。メンバーは16期生を含めて、次に記載しております新たなメンバーで編集と発行作業をしております。ご支援の程宜しくお願い致します。

会員皆様の紙面です。積極的な投稿を期待しております。また、編集委員をやってみたい方はご連絡下さい。

今年は春から新型コロナウイルス感染症のまん延によりほとんどの行事が中止に追い込まれました。夏から秋にかけて少しずつ行事が開催されてきましたが、まだまだです。

来年は新型コロナを心配せずに皆さんとお会いできることを切望しております。

やしお市民大学OB会OB通信編集委員会

編集委員 玉木 稔 OB会会長(10期)

堀 公保(13期)

大熊久江(14期)

金澤文子(14期)

峰重融二(14期)

鹿野雅巳(16期)

寺沢憲仁(16期)

関根研樹(16期)

責任者/連絡先/記事送付先:

豊田 隆(10期)

(PCメール) takashi.toyoda74@gmail.com

〒340-0833 八潮市西袋 874-6

(携帯電話) ☎ 080-3533-8352

メモ